

血液内科に、試料を保管されたドナーの方へ 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]

HLA 不適合造血幹細胞移植における高感度 HLA 交差適合試験法の有用性の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者名・所属] 豊嶋 崇徳・北海道大学病院 検査・輸血部 部長

[共同研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名]

札幌北榆病院

研究責任者 血液内科 杉田 純一

病院長 目黒 順一

[研究の目的] 血液のがんに対して、根治的な治療の一つに同種造血幹細胞移植（以下、同種移植）があります。同種移植を行うには HLA と呼ばれる血液のタイプが一致したドナーさんから幹細胞を提供していただく必要がありますが、少子高齢化により、ドナーの確保が徐々に難しくなっています。近年、HLA のタイプが一部合っていないドナーからの移植方法(HLA 不適合移植)が確立し、日常診療に応用されています。しかしながら、HLA のタイプが異なることで、移植するドナーさんの細胞に対して患者さんの免疫が反応してしまい、移植が上手く行かない可能性があります。本研究では、移植するドナーさんの細胞が、患者さんの身体の中で反応するのかわからないのか、正確に判断する検査系を確立することを目的としています。本研究を行うことで、将来的に、より安全な HLA 不適合移植が行えることを目指しています。

[研究の方法]

○対象となる方

2019 年 7 月～2026 年 12 月 1 日の間に北海道大学病院血液内科に研究目的で試料を保管した保管時の年齢が 18 歳から 55 歳までのドナー候補の方

○利用する検体・情報

検体：ドナーから採取した末梢血幹細胞

情報：年齢、性別、患者とドナーの続柄

○送付方法

この研究は、上記の研究機関で実施します。上記の検体は、患者さんとドナーさんの移植する細胞と反応をみる検査のために、北海道大学病院に郵送で送付します。上記の情報は、北海道大学病院に、電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2026年12月31日（登録締切日：2026年12月1日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用するドナーさんの情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に検体や情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院検査・輸血部 担当者 櫻澤 貴代

電話 011-706-5725 FAX 011-706-7622

[札幌北榆病院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

住所： 札幌市白石区東札幌 6 条 6 丁目 5 番 1 号

医療機関名：札幌北榆病院 担当医師： 杉田 純一

電話：011-865-0111